




様式第1号

令和4年 7月 25日

真庭市議会
議長 小田 康文様



真庭市議会議員 緒形 尚 

~~調査研究、研修会、要請~~陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

- 1 区 分 ~~調査研究~~ 研修会 ~~要請~~・陳情活動
- 2 訪 問 先

 自宅（オンラインセミナー）
 （株）地方議会総合研究所

 地方活性化とスポーツ振興の相乗効果を生み出すには？
 ～地域資源としてスポーツ活動を捉え、価値を最大化する方法～

- 3 内 容

 ① 地域スポーツ活動を持続可能なものにするには？
 ② SDGs達成にスポーツを役立てるには？

 ① 講師：広石拓司氏 10:00～13:00
 ② 講師：久保田淳氏 14:00～17:00

- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

● 参加議員

柴田 正志 (真和会)

緒形 尚 (明日の真庭を考える会)

● 行程

令和4年7月29日 (オンラインセミナー)

10:00~17:00

議員・職員のための

地方活性化とスポーツ振興の 相乗効果を生み出すには？

～地域資源としてスポーツ活動を捉え、価値を最大化する方法～

7月29日(金) in 東京

同時開催！
オンラインセミナー



講師：広石 拓司【株式会社エンパブリック代表取締役
ソーシャル・プロジェクト・プロデューサー】

東京大学大学院薬学系修士課程修了。シンクタンク勤務後、2011年よりNPO
法人ETIC.において社会起業家の育成に携わる。2008年株式会社エンパブリック
を創業。地域・企業・行政など多様な主体の協働による社会課題の解決事業
の構築に多数携わる。慶應義塾大学総合政策学部、立教大学大学院「社会
社会デザイン研究科などの非常勤講師も務める。Jリーグの社会貢献活動のアド
バイザー役も務めるなどスポーツと地域の協働推進にも取り組む。



講師：久保田 淳【株式会社エンパブリック ソーシャル
*スポーツ・プロジェクト・プロデューサー】

筑波大学体育専門学群卒業。蹴球部に所属し、サッカー大学日本一を目指す。
都市銀行勤務後、筑波大学院体育研究科にてスポーツ経営学を修了。2001年
よりJリーグのFC東京にてホームタウン活動の推進、街づくり、地域活性
化を担い、さらにサッカースクールの運営をはじめとした普及活動の事務局
も担当。2022年2月よりエンパブリックにおいてコミュニティの視点からス
ポーツの価値を問い、高める事業に従事している。

◆10:00～13:00

地域スポーツ活動を 持続可能なものにするには？

1. 注目が高まるスポーツと
地域づくりとの関係
2. 日本社会におけるスポーツのこれまで
3. 日本のスポーツの特性
4. 地域とスポーツをめぐる課題
5. スポーツの地域における意味を問い直す
6. 地域スポーツを支える
エコシステムの必要性
7. 地域に根付いたスポーツ活動の進め方

◆14:00～17:00

SDGs 達成に スポーツを役立てるには？

1. スポーツの持つ多面的な
価値をSDGsに役立てる
2. 学びの場としてのスポーツ
3. ダイバーシティ&インクルージョンと
スポーツ
4. コミュニティ醸成とスポーツ
5. 環境問題とスポーツ
6. 地域産業とスポーツ
7. 地域とスポーツの協働を
進める上でのポイント

(株)地方議会総合研究所

議長 副議長 局長 GL 係 回覧



様式第2号

報告書



令和4年 9月 28日

真庭市議会議長 小田 康文様

報告者 真庭市議会議員 氏名 緒形 尚



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和4年 7月 29日 (午前 午後) 10時00分 至 令和4年 7月 29日 (午前 ・午後) 5時00分
2	場 所	真庭市役所4階・会派室 ----- ----- -----
3	用 件	研修会参加 (オンラインセミナー) ----- ・◎ 地域スポーツ活動を持続可能なものにするには? ----- ◎ SDGs達成にスポーツを役立てるには? ----- 講師：◎ 広石拓司 氏 ◎ 久保田淳 氏
4	概 要	別紙にて報告 ----- ----- ----- -----

地方活性化とスポーツ振興の相乗効果を生み出すには？

オンライン研修 報告書

令和4年7月29日

真庭市役所4階・会派室

(オンライン受講)

報告者：柴田 正志

緒形



● 地域スポーツ活動を持続可能なものにするには？

・スポーツとは？

スポーツ基本計画では、スポーツは「する」「みる」「ささえる」という様々な形での自発的な参画を通して、人々が感じる「楽しさ」や「喜び」に本質を持つものである。(Well-beingの考え方につながる)

スポーツを通じて、他の分野にも貢献し、優れた効果を波及したり、様々な社会課題を解決したりすることができるという社会活性化等に寄与する。

スポーツによるまちづくりとは、スポーツ自体を楽しむこと、スポーツ自体を振興することに加えて、スポーツの力(楽しさ、感動、共感など)を積極的に活用して、地域の様々な地域課題(少子高齢化、住民の健康増進、活性化、経済の衰退など)を解決し、地方創生・まちづくりを実現することを意味している。

・第3期スポーツ基本計画 12の施策

- ① 多様な主体におけるスポーツの機会創出
- ② スポーツ界におけるDXの推進
- ③ 国際競技力の向上
- ④ スポーツの国際交流・協力
- ⑤ スポーツによる健康増進
- ⑥ スポーツの成長産業化
- ⑦ スポーツによる地方創生・まちづくり
- ⑧ スポーツを通じた共生社会の実現
- ⑨ スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化
- ⑩ スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材
- ⑪ スポーツを実施する者の安全・安心の確保
- ⑫ スポーツ・インテグリティの確保

①～⑫の取り組みが地域の方となるように！

どう活かすかは地域の知恵と工夫 次第！！

・スポーツはいいものか？

競技としてのスポーツ

感動！ 限界への挑戦！ 勝利！ 多くのファン



同時に運動への苦手意識、スポーツ嫌いも

運動が苦手な子どもたちは、学校の体育の授業で挫折感を味わう

学校の授業としての「体育」⇒成績がつく、できない姿をさらす

体育の根性主義、部活動の競争、勝敗・順位、指導者のパワハラ

オリンピックの特別視、国策感、感動の押し付け？

高校ではスポーツをするが、それ以降はやめてしまう人が多い

※ 多様な「楽しさ」「楽しみ方」「関わり方」をどう広げていくか？

・多様な主体におけるスポーツの機会創出

国民のスポーツ実施率を向上し、日々の生活の中で一人ひとりがスポーツの価値を享受できる社会を構築する。

地域や学校における子ども・若者のスポーツ機会の充実と体力向上

体育の授業の充実、運動部活動改革の推進

女性、障がい者、働く世代、子育て世代のスポーツ実施率の向上

以上の背景には…

原っぱや公園など自由な体を使う遊びの減少 → スポーツの習い事化

少子化の進展 → 若者のスポーツ人口の減少

部活動の部員数減、単独校での継続困難

働き方改革 → 教員の部活動時間の見直し

健康寿命の伸び → シニアのスポーツ環境の整備

・スポーツによる健康増進

現状の課題として…

スポーツによる健康増進に関するエビデンスを蓄積し、それを活用するための体制整備されていない

健康診断においては有所見でも、自己認識としては健康と認識している人は、健康のためにスポーツをしようと思う人は少ない

国民医療費は、高齢化等によりその更なる拡大が予想される中、スポーツによる健康増進、医療費抑制への期待が高まっているが、医療、介護とスポーツの連携や行政内部部局間の連携に課題がある

スポーツによる健康増進の効果についての効果的な情報発信、好事例の横展開不足している

- ・スポーツを地域づくりに活かせる連携を
住民主体でのスポーツ活動
地域ビジネスと住民の接点
健康づくり
子どもの倫理観、自己肯定感
ダイバーシティ&インクルージョンの推進
歩きたくなる都市（ウォークアブル・シティ）
環境問題の解決

※ スポーツ単独の価値ではなく、連携することで大きな可能性を発揮できる


● SDGs 達成にスポーツを役立てるには？

スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。我々は、スポーツが寛容性と尊厳を促進することによる、開発および平和への寄与、また健康、教育、社会包摂的目標への貢献と同様、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することを認識する。


・国連の考える「スポーツの持つ力」

国連は、スポーツが平和と開発を促し、寛容と相互理解を育む側面に着目してきた。以下、5つのメッセージを通して「スポーツの持つ力」を広めている。


- ① 他人に対する尊敬の意と、人々間の対話を促進する
- ② 子どもと若者が生きるために必要な、術や能力をもたらす
- ③ 障がいの有無に関わらず、全ての人々の社会への参画を促す
- ④ 男女の平等を促進し、女性のエンパワーメントに貢献する
- ⑤ 身体のみならず、心の健康を向上させる



SDGsのレンズで事業の意味を見直し、 意味を深める



サッカースクール
サッカーの魅力を伝える
クラブを知ってもらおう



1. スポーツは、持続可能な教育カリキュラムを設計し、学校や大学を縁化することで、持続可能性に関する意識を高めることができます。

2. スポーツは、立場・分野の異なる地域の担い手がつながる触媒となり、マルチステークホルダーを促進します。

3. 子供の健康な発育と幸福に良い影響を与えます。

4. チームワーク、協力、フェアプレー、目標設定などの能力と価値観を強化することは、社会人として仕事をしていく上での基礎を学ぶことができる

5. スポーツは多様性を大切にしています。スポーツに関わる人は立場を超えて相互理解を促進し、差別的慣行や様々な形態の差別に対処することができます。

6. スポーツを通してジェンダー平等の意識を促進します。

7. スポーツは、傷ついた人が回復する過程を手助けし、取り残された人の社会参加を促すステップになります。

8. スポーツは、コミュニティ全体の関与を強化し、より幅広い人の参加を促し、参加者をエンパワーメントします。

9. スポーツは、バランスの取れた食事を促進し、持続可能な食糧生産に関して個人を教育し、自然で健康的な食品に置き換える栄養改善を奨励します。

©empublic
empublic

◎ 目標 4 (質の高い教育をみんなに)

スポーツを通じて、仲間を作り、目標に向かって努力することや達成感を味わいながら次のモチベーションを作ることなど、ライフスキルを身につけることができる。社会に出たあとの学習機会への参加機会を広げる。職場や社会生活でも応用できるスキルの取得に向けた基盤にもなります。

※biima sports: スポーツを通して「基礎運動能力」「非認知能力」「自己肯定力」を高めるプログラム

<https://biima.co.jp/sports/> (参考)

◎ 目標 16 (平和と公正をすべての人に)

ルールを尊重し、フェアプレーをすることを体験的に学ぶ。ドーピングによる公正さの追求で、自分自身の努力やチームメイトとの信頼、競い合う相手へのリスペクト、スポーツを応援する人々の期待などを裏切る、不誠実で利己的な行為。

◎ 目標 5 (ジェンダー平等を実現しよう)

女性役員を積極的に登用し、バランスの取れた男女比を目指す。男女混合でチーム対抗を行うルールによって柔軟に考える機会にする。スポーツ活動には様々な役割があり、疑似的に社会進出を可能にする知識やスキルを身につけることができる。スポーツ界における男性と女性の両方のリーダーに、世界規模でのジェンダー平等に向けた改革の動きに対する理解が必要である。ジェンダーだけでなく、性指向に対する差別もスポーツ界 (IOC を含む) では禁止されている。

◎ 目標 10 (人や国の不平等をなくそう)

個性を尊重し認め合い、固定観念にとらわれない心のバリアフリーを進め、共生社会の実現に貢献する。著名アスリートからの不平等、差別に対する強いメッセージを発信する。開発途上国におけるスポーツの振興と、スポーツを通じた開発により途上国間および先進国との格差を縮めることに貢献する。

※大坂なおみ選手による発信: 全米オープンで人種差別への抗議をした (参考)

◎ 目標 1 (貧困をなくそう)

チームワーク、協力、フェアプレー、目標設定などの能力と価値観を強化するスポーツは、雇用の準備、

生産性、収入を生み出す活動を支援する移転可能な雇用スキルを教え、実践することができる。

貧困問題の解消のために声をあげ、課題解決に取り組む人と多くの人をつなげるプラットフォームとして利用できる。

【まとめ】

スポーツは、言葉が通じなくても一緒に盛り上がったり悲しんだり、感情を共有できるもので

す。そこには、人種も男女も経済的格差も関係ありません。だからこそ、人々はスポーツ選手を一生懸命応援し同じ人やチーム、スポーツを応援するだけで一体感も生まれていきます。そんなスポーツの力を活用することで、SDGsを達成しようとしているのがスポーツ庁です。スポーツで人生を変える、スポーツで社会を変える、スポーツで世界とつながる、スポーツで未来を創る、この4つの基本方針は、まさにSDGsを達成することにつながっています。

スポーツの楽しさや喜びを味わい、さらに人々と共有することで、健康的な生活を送りながらも社会の課題を解決する。そして国境を越えた絆を作ることで、世界とも人々ともつながっていく、そんな社会の実現は不可能ではないと言われています。

スポーツを通して行われる、次世代の豊かな社会づくり、それが2030年に向けたSDGsだと思います。我々もスポーツの力でSDGsの達成を目指していきたいと思っています。

